

ひとはく通信

ハーモニー

97

Jun. 2017

特集 開館25周年記念展示

ひとはく研究員のいちおし25選



兵庫のイカ・タコ類 25選



これってアリ？ アリに化けるクモ写真 25選

25th
HITOHAKU

兵庫県立
と自然の博物館
Museum of Nature and Human Activities Hyogo
<http://hitohaku.jp>

カエルとトカゲ、皆さん普段よく目にする生き物かと思います。両動物は現在世界中のありとあらゆる地域に生息しており、数千を超える種が確認されています。その起源は中生代にさかのぼり、恐竜と共にそれらの祖先群が既に地球上に生息していたことが化石記録から確認されていますが、その進化や多様化の過程については未だ多くの議論があります。

兵庫県の丹波市・篠山市には篠山層群という地層が分布しており、同層群の下部層（前期白亜紀：約1億1千万年前）からは、タンバティタニスで代表される恐竜類に加え、カエルやトカゲの化石が多数産出しています。これらについて検討したところ、カエル化石には新たな二つの分類群が含まれていることが明らかになり、それぞれ新属新種、ヒョウゴバトラクス・ワダイ（写真1）、タンババトラクス・カワズとして記載報告されました。また、トカゲ化石には少なくとも異なる五つの分類群が含まれており、その内一つが新種、パキゲニス・アダチイ（写真2）として記載報告されています。

まだまだ、研究の途上ですが、今後もこれら小

さな化石の研究を進めることで、両動物の進化の系譜、当時の種多様性や古環境の解明に寄与出来ると考えています。

池田忠広（自然・環境評価研究部）

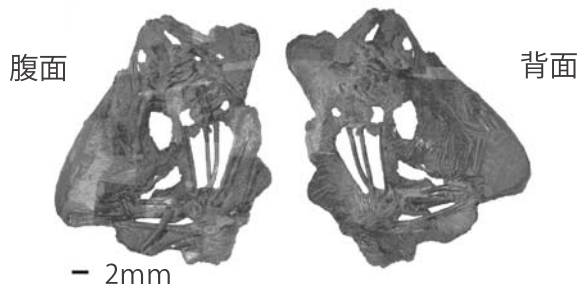


写真1 新属新種のカエル、ヒョウゴバトラクス・ワダイ (*Hygobatrachus wadai*) の化石



写真2 新種のとカゲ、パキゲニス・アダチイ (*Pachygenys adachii*) の化石

トピックス

新入館員 自己紹介



自然・環境評価研究部
地球科学研究グループ

生野 賢司

4月から研究員に加わりました、生野（いくの）です。専門は古生物学で、白亜紀のアンモナイトを研究しています。化石を使って過去の地球の姿、兵庫の姿を探っていきたくて考えています。よろしくお願いします。



自然・環境マネジメント研究部
環境計画研究グループ

福本 優

以前は、団地をテーマに市民のみなさん、自治体、企業と協働し持続的なまちについて考えてきました。ひとはくでも“まち”について、市民のみなさんと一緒に考えていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



自然・環境マネジメント研究部
生態研究グループ

櫻井 麗賀

チョウなどの昆虫の色や形、そして行動が生き残るうえでどのように役立つのかを研究してきました。多様な生き物がいることの面白さを伝えられるように、ひとはくで活動していきたいと思っていますのでよろしくお願いします。



生涯学習課
社会教育専門推進員

竹中 敏浩

4月より情報管理の仕事をしています。もとは高校理科の教員で、博物館も活用して授業を進めていました。自然科学は体験が一番の近道。多くの子供たちが活用してくれる博物館になれるようWebやメールで発信をしようと思っています。

3ページの答え→写真上から3段目の右から2番目